61—00.2　P

特許審査・審判の模擬事例

審査請求 ―― 補正A　特§17の2本文

特§48の3

第1回目の審査
（文献イを引用）

第1回目の拒絶理由通知

特§50

補正A＋B
（Bの付加）
特§17の2①一、③

第2回目の審査
（文献イ＋ロを引用）

最後の拒絶理由通知

特§50

補正A＋B_1　特§17の2①三、⑤⑥
（A＋Bの限定的限縮）

第3回目の審査
（文献イ＋ロ＋ハ引用）

補正却下
拒絶査定

補正A＋B_1を文献イ+ロ+ハで補正却下（特§53、特§17の2⑤⑥、特§126⑦（平15特§126⑤）
A＋Bを文献イ+ロで拒絶査定（特§49）

~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

拒絶査定不服審判の請求 ―― 補正A＋B_2

特§121①

（A+Bの限定的限縮）
特§17の2①四、⑤⑥

前置審査
（文献イ+ロ＋ニを引用）

前置審査
長官報告

補正 A+B_2 について審査（特§162）
A+B_2 は文献イ+ロ+ニで却下可能であることを報告（特§164③）

審判

合議体審理

特§136

補正 A+B_2 について審理
ケース1；A+B_2 を特許査定（特§159③で準用する特§51）
ケース2；A+B_2 を却下して A+B の拒絶査定の当否について審理（特§159①で準用する特§53）

審　決　特§157

（改訂 R5.12）
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~